

不法投棄未然防止事業協力評価報告書

＜平成25年12月16日実施＞

第三者委員会

No. 16-1	都道府県名： 東京都	覚書を締結した市町村等名： あきる野市							
協力の対象となる地域と当該地域世帯数及び人口： あきる野市全域		世帯数 ^{※1} ： 29,324	人口 ^{※1} ： 80,877						
事業協力年度 ^{※2} ：		(H21)・(H22)・(H23)・(H24)・(H25)・(H26)							
防止事業		引渡事業							
H22	実施期間	平成22年2月1日 ～ 平成23年1月31日		実施期間	平成22年11月1日 ～ 平成23年1月31日				
	内容	・看板の作成と設置 ・パトロールの実施		内容	職員又はパトロール員が回収し、市の施設で一時保管後、委託業者が指定引取場所に輸送する。				
H23	実施期間	平成23年2月1日 ～ 平成24年1月31日		実施期間	平成23年11月1日 ～ 平成24年1月31日				
	内容	・看板の作成と設置 ・パトロールの実施		内容	職員又はパトロール員が回収し、市の施設で一時保管後、委託業者が指定引取場所に輸送する。				
H24	実施期間	平成24年2月1日 ～ 平成25年1月31日		実施期間	平成24年11月1日 ～ 平成25年1月31日				
	内容	・看板の作成と設置 ・パトロールの実施		内容	職員又はパトロール員が回収し、市の施設で一時保管後、委託業者が指定引取場所に輸送する。				
品 目		エアコン	ブラウン管式 テレビ	液晶式及び プラズマテレビ	冷蔵庫・ 冷凍庫	洗濯機・ 衣類乾燥機	合計		
H22	引渡事業の実績(台)	0	17	0	1	1	19		
H23	引渡事業の実績(台)	1	21	0	2	0	24		
H24	引渡事業の実績(台)	0	17	0	1	0	18		
費 目 (金額：千円未満は四捨五入)		防止事業			引渡事業			合計	
		設備費	労務費	その他 経費	小計	撤去等 費用	再商品化 等料金	小計	合計
H22	※3①確定上限額(千円) ＜流用額＞	210 ＜-0.6＞	1,273	642 ＜0.6＞	/	21	52	/	/
	②事業に要した費用(千円)	204	1,273	643	2,120	27	51	78	2,198
	交付した助成額(千円)	/			1,060	21	51	72	1,132
H23	①確定上限額(千円) ＜流用額＞	210 ＜-42＞	1,273 ＜42＞	586	/	15	37	/	/
	②事業に要した費用(千円)	128	1,316	586	2,029	35	69	104	2,134
	交付した助成額(千円)	/			1,014	15	37	52	1,066
H24	①確定上限額(千円) ＜流用額＞	179 ＜-26＞	1,335 ＜26＞	643	/	15	36	/	/
	②事業に要した費用(千円)	0	1,335	643	1,977	24	46	70	2,048
	交付した助成額(千円)	/			989	15	36	51	1,040

※1：世帯数及び人口は、平成22年国勢調査による

※2：事業協力年度の評価について

①不法投棄削減の評価

- ・平成22、23年度協力事業において市町村等が掲げた平成23、24年度削減見込みの達成状況についての評価
- ・平成24年度協力事業において市町村等が掲げた平成25年度削減見込みの達成状況についての中間評価

②防止事業及び引渡事業の評価

- ・平成22、23、24年度に行われた協力事業の実施状況とその成果についての評価

※3：流用がある場合、確定上限額は流用額を含む

不法投棄未然防止事業協力評価報告書

<平成25年12月16日実施>

第三者委員会

No. 16-2	都道府県名： 東京都	覚書を締結した市町村等名： あきる野市
事業協力年度：	H21・H22・H23・H24・H25・H26	

I. 不法投棄量の削減状況

イ. 平成22年度事業による平成23年度見込み達成状況

平成22年度事業実施による成果として、平成20年度の特定廃棄物の不法投棄発見量77台に対する平成23年度の削減率を31.2%（年間不法投棄発見量53台）と見込んでいたが、同発見量は76台で、平成20年度に対し1.3%減となった。

ロ. 平成23年度事業による平成24年度見込み達成状況

平成23年度事業実施による成果として、平成21年度の特定廃棄物の不法投棄発見量80台に対する平成24年度の削減率を33.8%（年間不法投棄発見量53台）と見込んでいたが、同発見量は68台で、平成21年度に対し15.0%減となった。

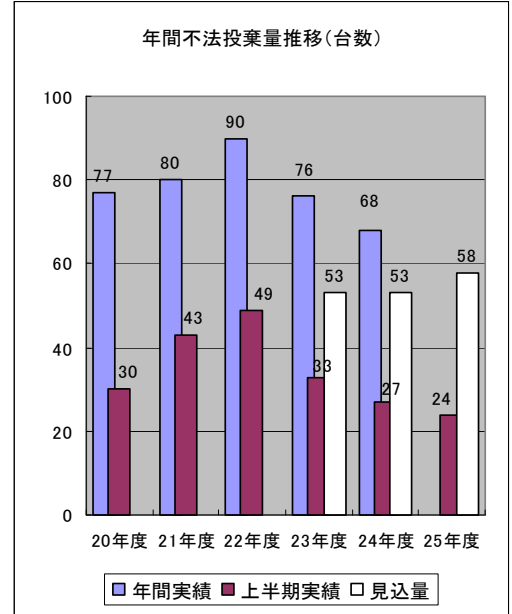
ハ. 平成24年度事業による平成25年度見込み状況

事業実施による成果として、平成22年度の特定廃棄物の不法投棄発見量90台に対する平成25年度の削減率を35.6%（年間不法投棄発見量58台）と見込んでいる。

平成25年度の見込み量は4～9月までの半期実績で24台となり、平成22年度の同期間に対して51.0%減となっている。

二. 平成20年度以降の推移状況

平成22年度まで増加していたが平成23年度に減少に転じた。



見込量：23年度は応募申請書に記載された1ヶ月の平均見込み台数に12を乗じ、小数点以下を四捨五入。24年度以降は応募申請書に記載された年間見込み台数。

II. 防止事業・引渡事業の実施状況

イ. 平成22年度事業

①防止事業について

・看板の作成と設置

（線越在庫91枚、設置87枚、平成23年1月作成95枚）

・パトロールの実施（2名、104回）

②引渡事業について

1月に19台を引渡した。

ロ. 平成23年度事業

①防止事業について

・看板の作成と設置（線越在庫99、設置53枚、平成24年1月作成80枚、残126枚）

・パトロールの実施（2名、101回）

②引渡事業について

1月に24台を引渡した。

ハ. 平成24年度事業

①防止事業について

・看板の設置（42枚（前年度在庫で対応））

・パトロールの実施（2名、104回）

②引渡事業について

1月に18台を引渡した。

III. 事業の評価等

平成22、23年度、看板については事業終了直前に翌年度設置分を作成する運用となっている。

平成24年度、看板作成を計画していたが在庫を設置し作成はしなかった。これにより事業終了直前に翌年度設置分を作成する運用が是正された。

平成22年度事業実施の結果として、平成23年度不法投棄削減見込みは未達成であった。

平成23年度事業実施の結果として、平成24年度不法投棄削減見込みは未達成であった。